

「第25回臨床消化器病研究会」開催のお知らせ

消化管の部 症例募集のお知らせ

※今回、主題1、3、4は症例募集を行いません。

消化管の部

[4セッション]

■ 8:50～10:20

主題1「IBD」テーマ:症例から学ぶ炎症性腸疾患 Final Season

指定演題 司会:平井 郁仁先生(福岡大学医学部 消化器内科学講座)

猿田 雅之先生(東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

病理コメンテーター:二村 聡先生(福岡大学筑紫病院 病理部・病理診断科)

■ 10:30～12:00

主題2「上部消化管」テーマ:胃の神経内分泌腫瘍

(Neuroendocrine neoplasm, NEN)の理解と診断

公募演題

司会:長浜 隆司先生(新東京病院 消化器内科)

上堂 文也先生(大阪国際がんセンター 消化管内科)

病理コメンテーター:八尾 隆史先生(順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学)

■ 12:10～13:00

主題3「機能」テーマ:消化管機能障害に対する最新の内視鏡診断と治療

指定演題

司会:中島 淳先生(国際医療福祉大学 消化器内科統括教授/熱海病院 病院長)

眞部 紀明先生(川崎医科大学 検査診断学(内視鏡・超音波))

①講演:栗林 志行先生(群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科)

②講演:塩飽 洋生先生(福岡大学病院 消化器外科)

■ 14:15～15:45

主題4「下部消化管」

指定演題

司会:山野 泰穂先生(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

大宮 直木先生(藤田医科大学 先端光学診療学講座)

病理コメンテーター:九嶋 亮治先生(滋賀医科大学 病理学講座)

肝胆膵の部

[3セッション]

■ 8:50～10:40

主題1 肝:「肝血管腫・肝類上皮血管内皮腫・肝血管肉腫」

公募演題

司会:南 康範先生(近畿大学医学部 消化器内科)

佐野 圭二先生(帝京大学医学部 外科学講座)

病理コメンテーター:草野 弘宣先生(久留米大学病院 病理診断科・病理部)

画像コメンテーター:小坂 一斗先生(金沢大学附属病院 放射線科)

基調講演:塚原 嘉典先生(信州大学医学部 画像医学教室)

■ 10:50～12:40

主題2 胆:「膵・胆管合流異常と胆道病変」

公募演題

司会:菅野 敦先生(自治医科大学 消化器・肝臓内科)

波多野 悦朗先生(京都大学大学院医学系研究科 肝胆膵・移植外科学)

病理コメンテーター:相島 慎一先生(九州大学大学院 構造病態病理学分野)

画像コメンテーター:吉満 研吾先生(福岡大学医学部 放射線医学教室)

基調講演:大塚 将之先生(千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学)

■ 13:55～15:45

主題3 膵:「次世代に伝えたい貴重な症例」

公募演題

司会:湯沼 朗生先生(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

大塚 隆生先生(鹿児島大学医学部 消化器・乳腺甲状腺外科)

病理コメンテーター:福岡 敬宜先生(自治医科大学附属病院 病理診断科)

画像コメンテーター:山下 竜也先生(松任石川中央病院 消化器内科)

基調講演:真口 宏介先生(手稲溪仁会病院 教育研究センター顧問/亀田総合病院 消化器内科顧問)

2025年8月9日(土) 8:45～15:55(予定)

虎ノ門ヒルズフォーラム 4F, 5F

4Fホール「肝胆膵の部」、5Fホール「消化管の部」

〒105-6305 東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー

参加資格

オープン

参加費

1,000円

ハイブリッド方式で開催

※本研究会はハイブリッド方式での開催となります。Webでのライブ配信又は現地会場にてご参加いただけます。
(開催後のオンデマンド配信は予定しておりません。)

共催:臨床消化器病研究会 〈事務局〉EAファーマ株式会社 製品戦略部 担当:道宗/古屋

臨床消化器病研究会HP <http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>

●症例のお申し込みはHPからお願い致します。



第25回臨床消化器病研究会 「消化管の部・演題募集」について

消化管の部では、主題2で検討する症例を公募いたします。

消化管の部 主題症例募集

「主題2」に即した症例があれば、「症例申込表」・「画像・病理データ」をCDに保存の上、事務局宛にお送りください。

※「症例申込表」は、臨床消化器病研究会ホームページ(<http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>)より入手できます。

締め切り: 2025年6月30日(月) “必着”

送付先: 臨床消化器病研究会 事務局

EAファーマ株式会社 製品戦略部

(内サンブラネット 古屋) 宛

〒104-0042 東京都中央区入船2丁目1番1号9階

TEL: 080-9279-4610

e-mail: hiroshi_furuya01@eapharma.co.jp

※本研究会では、各セッションの模様をDVDに収録し、研究会終了後に希望者に貸出します。応募にあたっては、予めご承知おきください。

注意事項

1) 「抄録」

※「臨床消化器病研究会 症例申込表」を使用し、以下の項目を必ずご記入願います。

- 応募する「領域」「主題」
- 演題名、所属、氏名
- 症例の要旨(400文字以内)
- 症例申込表とともに送りいただく資料の種類、枚数(資料別)

2) 「画像・病理データ」

※パワーポイントで作成し、以下の画像・病理データをご提出願います。

- 画像所見(X線所見、内視鏡所見など)
- 切除標本所見(マクロ)
- 病理組織所見(ミクロ)
- その他、症例検討に必要な資料

※病理標本現物(プレパラート)は、送付しないでください。

3) 「症例申込表」、「画像・病理データ」は、CDに保存の上、ご提出願います。

※今回、主題1、3、4は演題募集を行いません。

主題 1

指定演題

「IBD」テーマ:症例から学ぶ炎症性腸疾患 Final Season

司 会:平井 郁仁先生(福岡大学医学部 消化器内科学講座)

猿田 雅之先生(東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

病理コメンテーター:二村 聡先生(福岡大学筑紫病院 病理部・病理診断科)

炎症性腸疾患(IBD)には、潰瘍性大腸炎(UC)、クローン病(CD)といった狭義のIBDの他に、様々な類縁疾患が存在する。

具体的には、類似の内視鏡像を呈する疾患、膠原病や自己免疫疾患などに伴う消化管病変、感染症や薬剤性により生じる消化管疾患などがあり、診断に迷うことや治療に難渋することも少なくない。さらに、UCとCDの鑑別が困難で、治療に難渋した結果、外科治療においてもその術式に悩む症例も存在する。

そこで本研究会では、診断と治療に難渋したIBDの新規症例の検討を行うとともに、これまでに本会で取り上げてきた様々なIBDおよび類縁疾患について改めて提示し解説する。

主題 2

公募演題

「上部消化管」テーマ:胃の神経内分泌腫瘍(Neuroendocrine neoplasm, NEN)の理解と診断

司 会:長浜 隆司先生(新東京病院 消化器内科)

上堂 文也先生(大阪国際がんセンター 消化管内科)

病理コメンテーター:八尾 隆史先生(順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学)

1907年にドイツの病理医が癌に比べて特異な組織像を示し緩徐な発育を示す小腸腫瘍をKarzinoideと命名して以来、消化管の神経内分泌腫瘍(Neuroendocrine neoplasm, NEN)は概念が不明瞭なままにカルチノイドと呼称されてきた。しかしその後、NENの多様性がわかるにつれ、2010年以降のWHO分類ではカルチノイドという名称は廃止され、NENは分化度と細胞増殖活性をもとに高分化のneuroendocrine tumor(NET)と低分化のneuroendocrine carcinoma(NEC)に分類された。このような概念を胃NENにそのままあてはめると、胃NETと胃NECは単に細胞異型度と増殖活性だけが異なる同系列の腫瘍であるかのようにとらえられかねない。しかし、胃においてNETとNECは起源・性質が全く異なる腫瘍である。すなわち胃NETは内胚葉系の内分泌細胞の前駆細胞から発生した異型度の低い低悪性腫瘍であるのに対して、NECは腺癌と同様に多機能幹細胞を起源に発生し、内分泌細胞への分化傾向をもつ転移・増殖能の高い高悪性度腫瘍である。本セッションではNENの概念の理解と、胃NETと胃NECの形態や臨床像のちがいの認識により、正確な診断と取り扱いができるようにしたい。

主題 3

指定演題

「機能」テーマ:消化管機能障害に対する最新の内視鏡診断と治療

司 会:中島 淳先生(国際医療福祉大学 消化器内科統括教授/熱海病院 病院長)

眞部 紀明先生(川崎医科大学 検査診断学(内視鏡・超音波))

①講演:栗林 志行先生(群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科)

②講演:塩飽 洋生先生(福岡大学病院 消化器外科)

消化管機能障害の診療では、近年進歩が著しい内視鏡技術を駆使し、これまで捉えきれなかった消化管の微細炎症や機能異常を早期に発見し、適切な治療に導くことが理想的である。現在、各種内視鏡を用いた先進的な観察技術による管腔内からの詳細な観察のみならず超音波内視鏡による消化管壁の評価など、管腔内からの診断と断層診断の両面からの診断法の確立が進んでいる。一方、治療においては、経口内視鏡的筋層切開術(POEM)や内視鏡的噴門部粘膜焼灼術(ARMA)などの新しい治療法の開発、そして術後の合併症管理や再発予防を含めた包括的な内視鏡治療戦略の構築が進んでいる。本主題では、これらの最新の内視鏡診断・治療に関する知見や技術、臨床応用についてお二人の先生にご講演頂き、消化管機能障害に対するより効果的で安全な内視鏡診療について理解を深めることを目的とする。

●虎ノ門ヒルズフォーラムへ徒歩でのアクセス



【所在地】東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ 森タワー 5階

【交通機関からのアクセス】

- 東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」①B1出口 ②A1b出口
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」①B1出口 ②B4出口(2階デッキ経由)
- 東京メトロ 千代田線/丸の内線「霞ヶ関駅」A12出口 徒歩約8分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A3出口 徒歩約8分
- 銀座線/浅草線/ゆりかもめ/山手線/京浜東北線/東海道線/横須賀線「新橋駅」烏森口出口 徒歩約11分

消化器疾患の患者さまの笑顔。

そんな、いい絵を描きたい。

消化器疾患で苦しむ人たちの
幸せに生きたい。自分らしくありたい。
その思いにしっかり応える私たちでありたい。
EAファーマは、
そんな未来の実現に向けて進んでいきます。



EAファーマ

EAファーマは、消化器のスペシャリティ・ファーマです。

EAファーマは、エーザイグループの消化器事業と
味の素グループの消化器事業を統合・設立した製薬会社です。

EAファーマ株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号

<http://www.eapharma.co.jp/>



Eisai Eisai Group